台東育英

Ｎｏ．１

台東区立台東育英小学校

統括校長　瀬下　清

http://www.taitocity.net/taitouikuei-s/

新年度を迎えて　～粘り強さをもって～

統括校長　　瀬下　清

春爛漫の季節を迎えました。

令和５年度、台東育英小学校の教育活動が始まりました。保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学、ご進級、誠におめでとうございます。

本校は、８０名の新入生を迎え、全校児童４２１名、１４学級で元気いっぱいにスタートいたしました。始業式での子供たち一人一人の表情から、新鮮な気持ちで学校生活を始めようとの意欲を感じました。この意欲をエネルギーとして、学校生活が充実したものになるよう努めてまいりたいと思います。

さて、私たちに多くの感動をくれたＷＢＣで、侍ジャパンのヌートバー選手が見せた「ペッパー・グラインダー（ペッパー・ミル）こしょうひき」ポーズが話題になりました。「グラインド」には、「すりつぶす」の他に「こつこつ打ち込む」という意味もあり、粘り強さを鼓舞する言葉として使われているそうです。諦めず、ひたむきに努力する姿勢の大切さが伝わってくるようです。今日から始まる学校生活の中で、子供たちには、何事にも焦らず、粘り強く取り組んでいけるよう寄り添っていきたいと思います。時には、思い通りにいかないこともあると思いますが、そんな時には、支えてくれる家族や友達、そして先生がいることを思い出しながら、粘り強く進んでほしいです。

東京駅前にある八重洲ブックセンター本店が、４４年の歴史に幕を閉じることを知り、とても寂しく感じました。私が教員になったばかりの頃は、お給料をもらう度に通ったものです。一般の書店にはない専門書が手に入る八重洲ブックセンターでは、「子供の上手なほめ方、叱り方」「信頼される教師になるために」などの教育書から始まって、各教科の専門書をたくさん買っては、必死に勉強をしていました。「よい学級にしたい」、「分かりやすい授業をしたい」など、悩みながらも諦めずに挑戦していきました。力のある教員になりたい一心で通った場所が、八重洲ブックセンターでした。先日、閉店間近のこの書店で、これまでの感謝とお別れの気持ちをもちながら、たくさんの専門書を買ってきました。今日から私自身が、焦らず粘り強く歩みを始めていきたいと思います。

一人一人の子供たちの笑顔が輝けるよう全力を尽くしていく所存です。本年度も本校の教育活動にご理解とご支援のほど、何卒よろしくお願いを申し上げます。